

ハコベルサービスのご紹介

2025/09 | ハコベル株式会社

会社概要

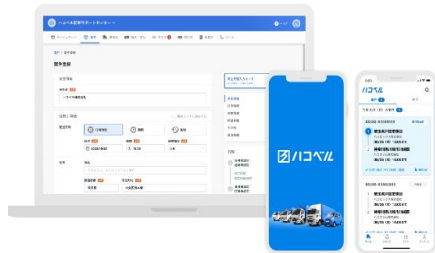
会社名	ハコベル株式会社
沿革	2015年12月 ラクسل株式会社内でサービス開始 2022年8月 ハコベル株式会社設立
代表者	狭間 健志 代表取締役社長CEO
事業内容	物流のシェアリングプラットフォーム「ハコベル」の運営
株 主	セイノーホールディングス株式会社 ラクسل株式会社 山九株式会社 株式会社環境エネルギー投資 福山通運株式会社 SOMPO Growth Partners株式会社 日本ロジテム株式会社 日本郵政キャピタル株式会社 J A三井リース株式会社
所在地	東京都中央区八丁堀2-14-1 住友不動産八重洲通ビル1、3階



当社の事業：トラックのマッチング（貸切運送手配）、荷主様向け配車管理・配車計画システム、バース受付予約システムの3つの事業を展開

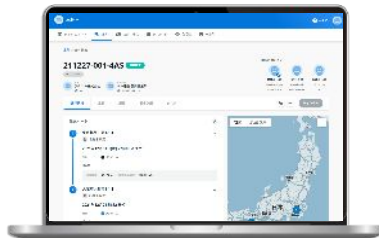
トラックのマッチング （貸切運送手配）

- ・軽貨物～大型トラック までの手配
- ・2万社・6万台超の運送会社・ドライバーへの発注が可能
- ・当社は利用運送事業者として、
配送品質・貨物責任を負う
- ・費用＝発注手配分の運賃
（月額費用なし）



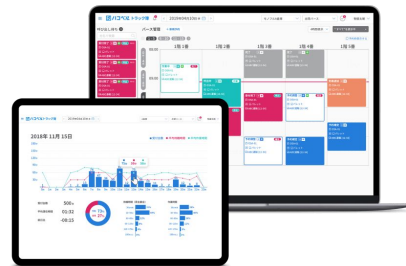
荷主様向けシステム （配車計画・配車管理）

- ・当社への車両委託の有無に関係なく
利用可能
- ・システムの中から必要ある機能だけを
切り出してご利用可能
- ・費用＝月額のシステム利用料
（委託先の運送会社は無料）



バース受付予約システム

- ・2024年問題対策として、
荷待ち/荷役時間の削減に寄与
- ・24年11月に日本GLPグループの
モノフル社より事業譲渡
- ・費用＝月額のシステム利用料
- ・初期費用0円からご利用可能



お客様の事例

※一部抜粋

メーカー



小売/卸/他



物流



法改正への対応ポイントとハコベルの対応ソリューション

荷主企業、運送会社に求められる以下対応に対して、ハコベル各ソリューションでご支援します。

対応すべき法令	具体的なアクション	荷主	運送会社 (含む元請)	ハコベル ソリューション
物資の流通の効率化に関する法律 (物効法)	積載効率の向上、荷待ちの短縮、荷役の短縮	○	○	トラック簿 配車計画
	中長期計画の策定、定期報告、CLOの選任	△	×	トラック簿 ハコベルキャリア
貨物自動車運送事業法 (トラック法)	実運送体制管理簿の作成	×	△	配車管理
	下請発注の管理規定作成、管理者選任	×	△	配車管理
	書面交付	○	○	配車管理
中小受託取引適正化法 (取適法)	運賃とそれ以外の料金の切り分け	○	○	配車管理
	中小受託事業者への禁止行為の理解と対応	△	△	開発中
トラック新法	事業許可更新制、多重下請け抑制、処遇確保	×	○	運送手配
	白トラ禁止、適正原価の遵守	○	○	開発中

物流DXシステム：物流部門/3PLの輸送機能をサポートする機能群



配車計画

- 配車計画の属人化解消
- 配車計画の効率化
- ペーパーレス実現

配車管理

- 手配業務の標準化・可視化
- 手配実績のデータ蓄積・分析
- ペーパーレス実現

マッチング

- 全国2万社、6万台超の登録
- 軽~10tまで多様な車格に対応
- 階層構造の最小化

トラック簿

- 荷待ち・荷役時間の把握・削減
- バースの混雑解消
- 入出荷業務の効率化



物流DXシステム：物流部門/3PLの輸送機能をサポートする機能群



配車計画

- 配車計画の属人化解消
- 配車計画の効率化
- ペーパーレス実現

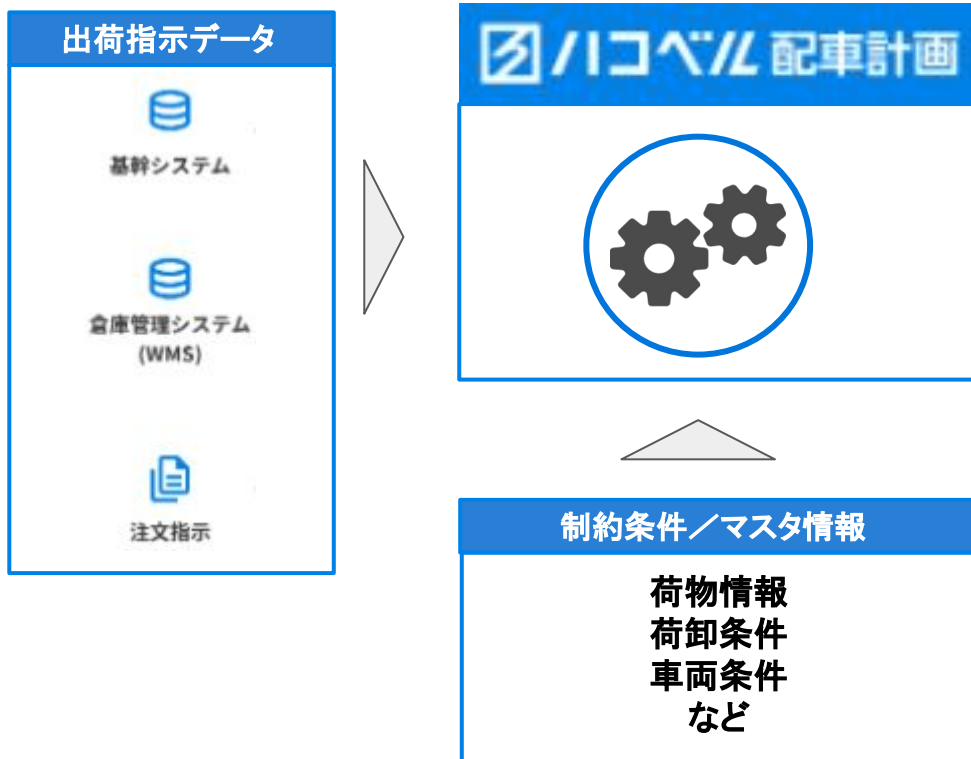
配車管理

- 手配業務の標準化・可視化
- 手配実績のデータ蓄積・分析
- ペーパーレス実現

トラック簿

- 荷待ち・荷役時間の把握・削減
- バースの混雑解消
- 入出荷業務の効率化

配車計画システムの概要



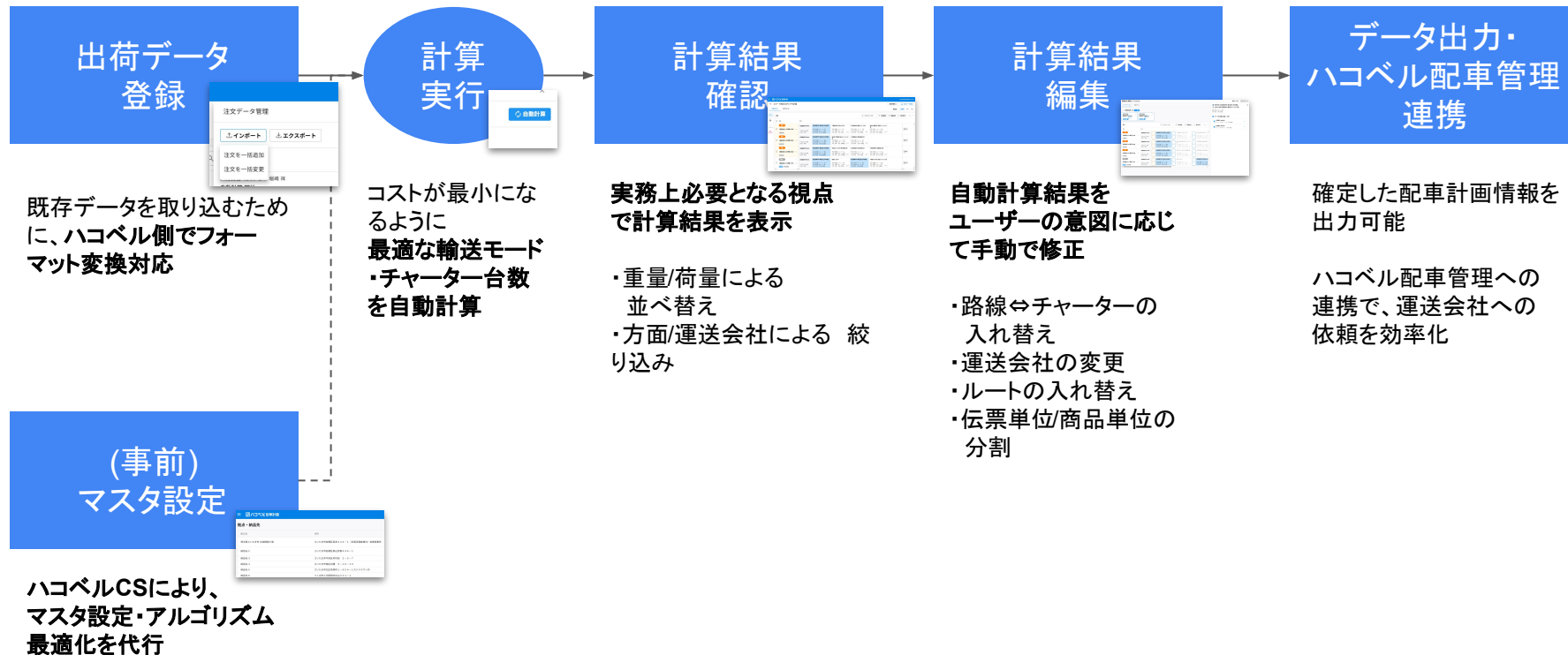
AIによる最適配車の計算

1. 貸切チャーター一便、特積・路線便の割り振りを自動計算
2. 貸切チャーター一便の最適ルートを自動計算



配車計画のご利用イメージ

複数回のデータ取り込み・多段階計算に対応



特定荷主の中長期計画、定期報告

特定荷主の中長期計画、定期報告のフォーマット内でも配車計画のシステム導入状況の記入欄が設けられています

II 運転者の運送及び荷役等の効率化に関する判断基準の遵守状況

1 特定第一種荷主

対象項目	遵守状況	
① 貨物の運送の委託の時から貨物を引き渡し、又は受け取るべき時までの間に、貨物自動車運送事業者等が他の貨物との積合せ、配送の共同化、運送の帰路における車両への貨物の積載その他の措置を講ずるために必要な時間を把握することその他の措置により、当該時間を確保すること。		
	☐ ほぼ全ての発注で実施している ☐ 大半の発注で実施している ☐ 一部の発注で実施している ☐ 実施していない	
	実施状況の詳細	具体的な措置の内容

[物資の流通の効率化に関する法律の規定に基づく荷主に係る届出等に関する命令\(PDF形式:1.004KB\)](#)

スケジュール

公布: 令和7年8月29日(金)

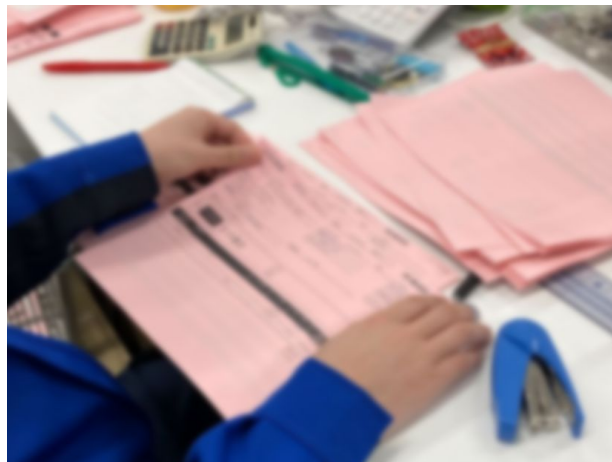
施行: 令和8年4月1日(水)

③ 配車計画及び運行計画を作成する機能を有する情報処理システムの導入を行うことその他の措置により、配車計画又は運行経路の最適化を行うこと。		
実施状況の詳細	☐ ほぼ全ての発注で実施している ☐ 大半の発注で実施している ☐ 一部の発注で実施している ☐ 実施していない	
	具体的な措置の内容	



配車計画業務をハコベル 配車計画でシステム化。
属人化解消・業務時間削減・ペーパーレス化を実現

以前の業務



- ・大量の伝票を出力
- ・決まったメンバーでないとできない
- ・計画策定時間に加え、紙の出力・整理にも時間を要す

ハコベル導入後の業務



- ・計画策定時間: 半分に以下に削減
- ・出力書類: 33%削減
- ・属人化を解消。若手メンバーでも対応可能に

物流DXシステム：物流部門/3PLの輸送機能をサポートする機能群



2. 荷待ち荷役時間の計測・短縮

配車計画

- 配車計画の属人化解消
- 配車計画の効率化
- ペーパーレス実現

配車管理

- 手配業務の標準化・可視化
- 手配実績のデータ蓄積・分析
- ペーパーレス実現

トラック簿

- 荷待ち・荷役時間の把握・削減
- バースの混雑解消
- 入出荷業務の効率化

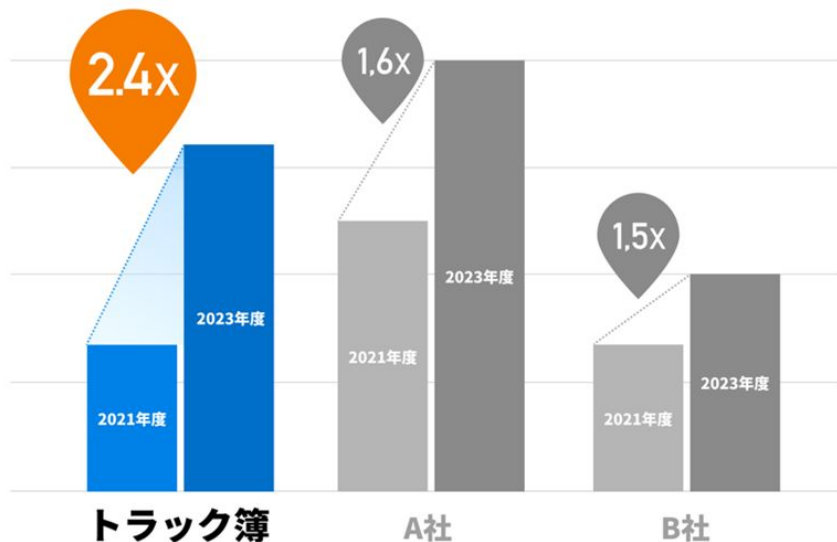
トラック簿が選ばれる理由

出典：※デロイトトーマツミッド経済研究所
「スマートロジスティクス・ソリューション市場の実態と展望2024年度版」
<https://mic-r.co.jp/mr/03240/>

業界No1の成長(新規導入拠点最多)

3年連続で成長率1位を獲得！
業界TOP企業も多数ご利用中！

導入拠点数



始めやすい契約期間

最低期間は1ヶ月(他社は1年縛り)
プラン変更・オプション変更も柔軟対応！

高いコストパフォーマンス

業界最安値のプラン設定！
1拠点目では初期費用0円

操作性・使いやすさ

倉庫利用者だけでなく
ドライバーの定着化をサポートする機能が充実！

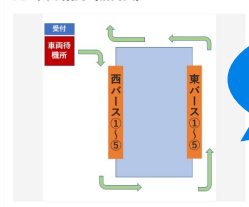
トラック簿には現場での定着化をサポートする機能が充実

WEBマニュアルで誘導も簡単



道案内動画

パースの案内（構内図）



構内MAP



デジタルガイドで受付も簡単



デジタルガイド

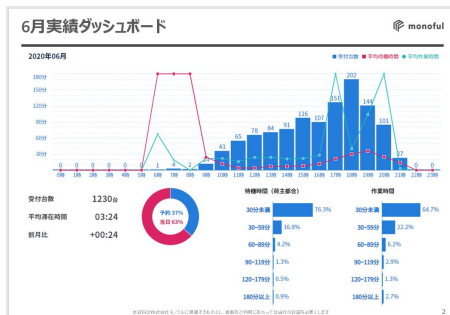


倉庫への **道案内動画・構内 MAP**などを
ドライバーに案内でき迷わずバースに誘導可能

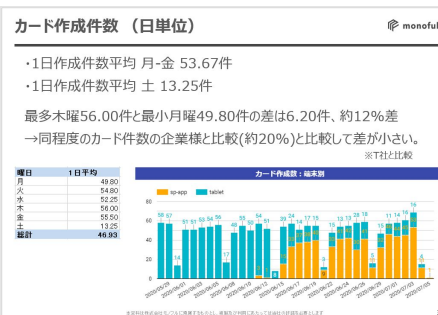
受付画面に「**入力ガイド**」を表示可能
初めてのドライバーでも簡単に受付可能

導入効果をまとめた実績レポートを作成しフィードバック

お客様拠点における 特定期間内の実績と分析結果



同規模の他社拠点と比較した際 の客観的な分析結果



実績や分析結果を踏まえた 改善案のご案内



カード作成件数 (時間帯別)

- ・18, 19時台 全体の**28%が集中**
- ・18, 19時台は1日あたり17.2件、平均待ち時間は**31.93分**
6月全時間帯平均と比較(18.21分)して**1.75倍**となっています。
- ・6月18, 19時台で**60分を超える待ちが41件**
クレームになりやすいので事前の対応が必要と考えられます。



カード作成件数 (バス別)

- ・6月全体の平均待ち時間は18.21分
同程度のカード作成数である企業様と比較しても**良好**と考えられます。
- 福岡県S社 3.1...5分 バス数が少ない(3バス)
- 茨城県M社 1.0...5分 予約機能が効率化(4バス)

バス名	平均待ち時間	件数
24-A	19.4	182
24-B	13.1	210
25-A	23.3	202
25-B	13.6	208
25-A	14.2	200
25-B	26.9	209
4-A	8.7	3
4-B	5.9	9
5-A	1.8	5
6-A	23.0	2
6-B	0.0	1
合計	18.2	1231

- ・バスごとの**バラツキ**が見受けられます。
- 26-Bでは**平均26.9分**となっています。
- 稼働率 (カード件数) も含めて調整されることが
オススメです。

受付カスタマイズ ご利用のご提案

- ・貴社では「メモ欄」にドライバー名を入力する運用を行われています。



ドライバーによっては6月に46件の受付、ドライバー名を入力しています。

受付カスタマイズ

従来の受付のようにドライバー情報だけではなく、荷物情報に関しても
前回の入力値が自動で入力されるようになります！
受付でのドライバー入力負荷の低減効果が期待できます！

※前回と異なる場合は上書き入力が可能です。
※スマホ受付での受付カスタマイズ利用は現在開発中です。

システム連携（API）イメージ

WMS連携



トラック簿の予約情報(事前情報)を連携することで
商品や伝票を事前準備しタイムリーな荷渡しが可能に

車番認証システム連携



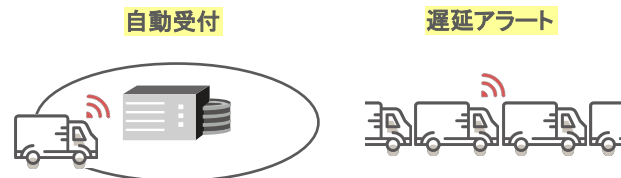
認証カメラで読み取り事前登録された車番と照合。
ゲート・電光掲示板・パトライト等と連携も可能

配車システム連携



配車システムで計画した情報をトラック簿に連携し
バス単位で来るトラックをスケジューリング

動態管理システム連携



GPS情報により事前に設定した受付半径に入ると
自動受付・予約時間に到着していない場合は遅延アラート

さらなる課題への取り組み ～業界内での連携を開始

トラック予約/受付サービスの種類が
増えることによる一つの課題
運送会社様による予約の煩雑さ

TSUNAGUTE社とのシステム連携合意
日本の物流業界にさらなる貢献するべく、
予約の煩雑さを取り払うことを合意

2社合算で市場シェア1位
55%程度(ハコベル社 x TSUNAGUTE社)

出典:※デロイトトーマツ ミック経済研究所
「スマートロジスティクス・ソリューション市場の実態と展望2024年度版」<https://mic-r.co.jp/mr/03240/>

TSUNAGUTE/ハコベルとの間でトラック予約/受付システムにおける連携を開始

運送会社観点での予約の煩雑を取り払い、よりスムーズな業務遂行可能な物流現場を目指す

株式会社TSUNAGUTE 配信時間未定



このたび株式会社TSUNAGUTE（本社：東京都千代田区、代表取締役：野町雅俊、以下：TSUNAGUTE）と、ハコベル株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長CEO：狭間 健志、以下：ハコベル）は、両社が展開するトラック予約受付システムにおいて、2025年2月17日より連携を開始することをお知らせいたします。

物流DXソリューション

トラック予約/受付システム

「telesa-reserve」と「トラック簿」

連携開始



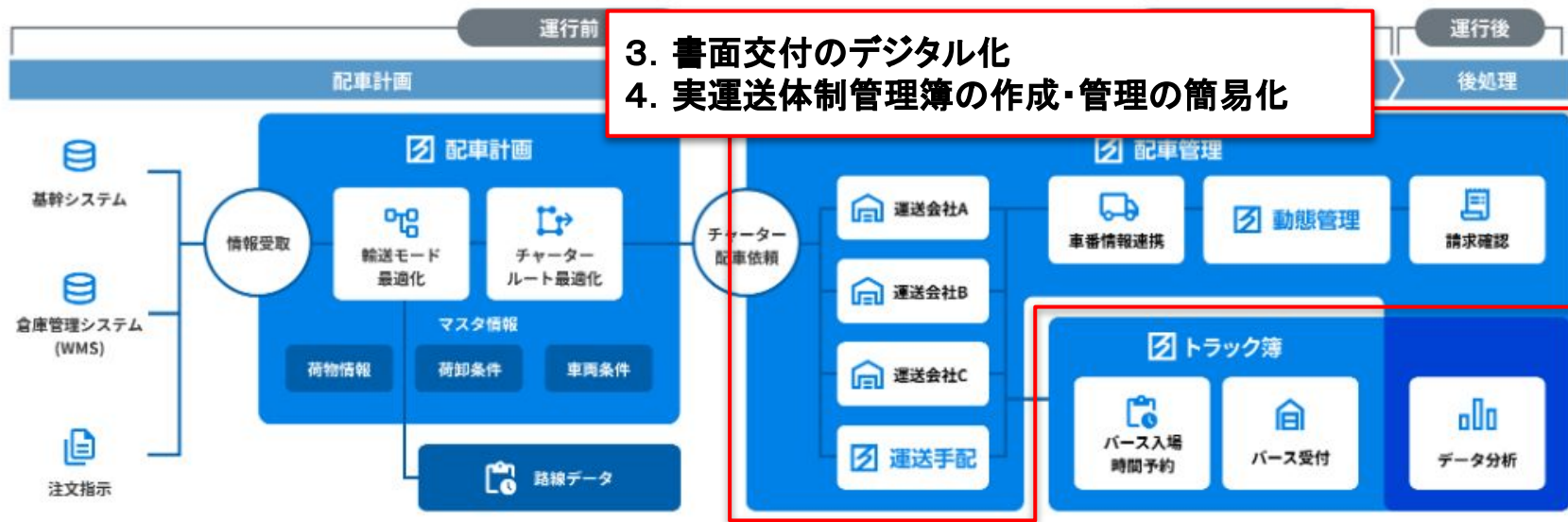
 **TSUNAGUTE** ×  **ハコベル**

■本連携の背景と目的

2024年問題の社会的認知の高まりに伴って、企業には待機時間の削減・荷役の効率化への対策が迫られています。トラック予約/受付システムは、その解決策の一つとして行政も示していることから、導入を進める企業が増えています。一方でトラック予約/受付システムの導入を進めるにあたり課題となっているのが、運送事業者様側に複数のトラック予約/受付システムへの予約業務が発生してしまうことです。システムごとに入力形式が異なるなど、煩雑な作業を強いてしまうケースがあります。

本来の課題解決を目指しながら運送事業者様のご負担を減らし、倉庫管理会社様と共に協力し合うことで、システムによる効率化を推進することが重要であると考えに至りました。

物流DXシステム：物流部門/3PLの輸送機能をサポートする機能群



配車計画

- 配車計画の属人化解消
- 配車計画の効率化
- ペーパーレス実現

配車管理

- 手配業務の標準化・可視化
- 手配実績のデータ蓄積・分析
- ペーパーレス実現

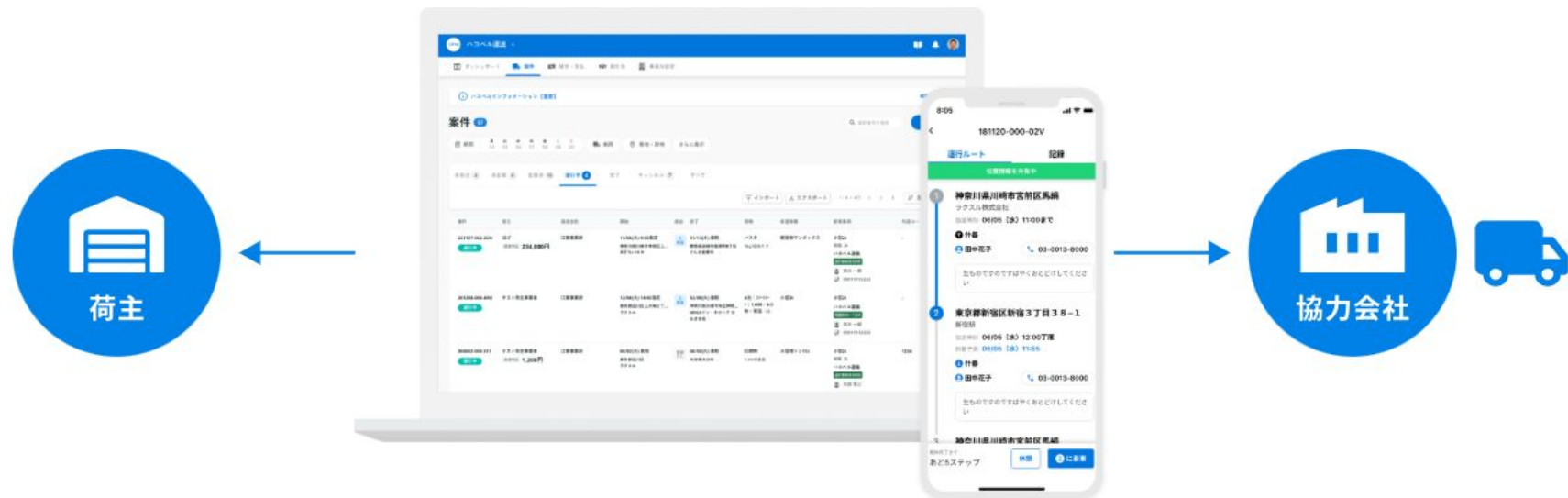
トラック簿

- 荷待ち・荷役時間の把握・削減
- バースの混雑解消
- 入出荷業務の効率化

ハコベル配車管理について

運送依頼をシステム化。効率的かつガバナンスの効いた依頼を実現できます。

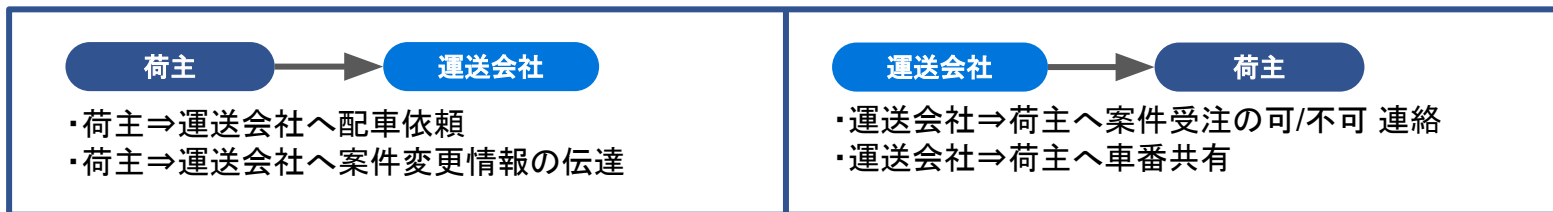
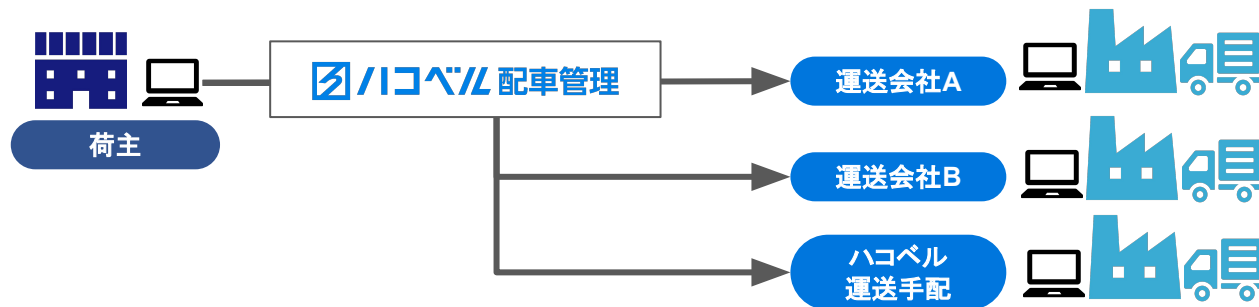
法令対応に追従、ガバナンスの効いた商取引の実現！



全てのプロセスがデジタル化され 管理が簡単に！

『ハコベル配車管理システム』とは

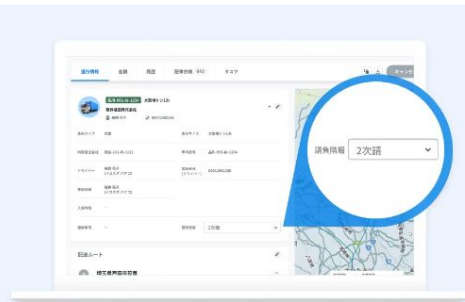
荷主⇔運送会社間の受発注内容をオンラインで
「かんたん」「正確」「リアルタイム」に共有できて法令遵守を実現するツールです



配車管理ができる 3つのこと

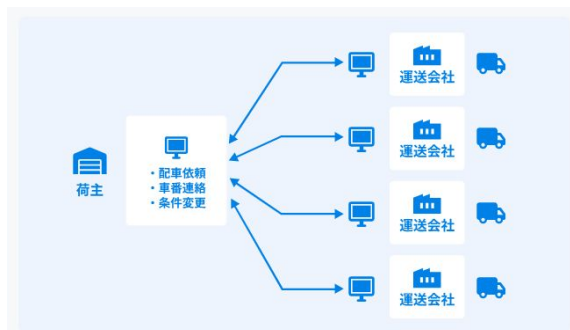
物流二法改正など 法令遵守を実現

実運送体制管理簿の作成、一運行毎の荷主と運送会社の申込書授受など法令への対応が可能



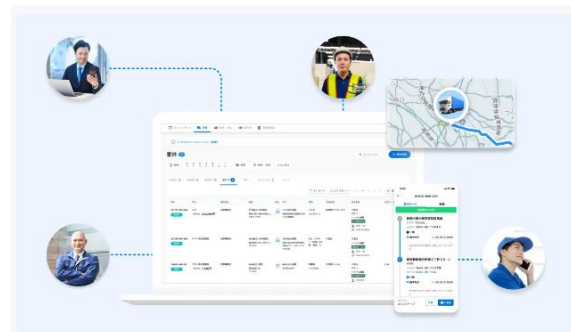
配車業務の効率化

荷主と運送会社間の電話/FAX/メールによる受発注や請求支払い内容をデジタル化し業務効率化を実現



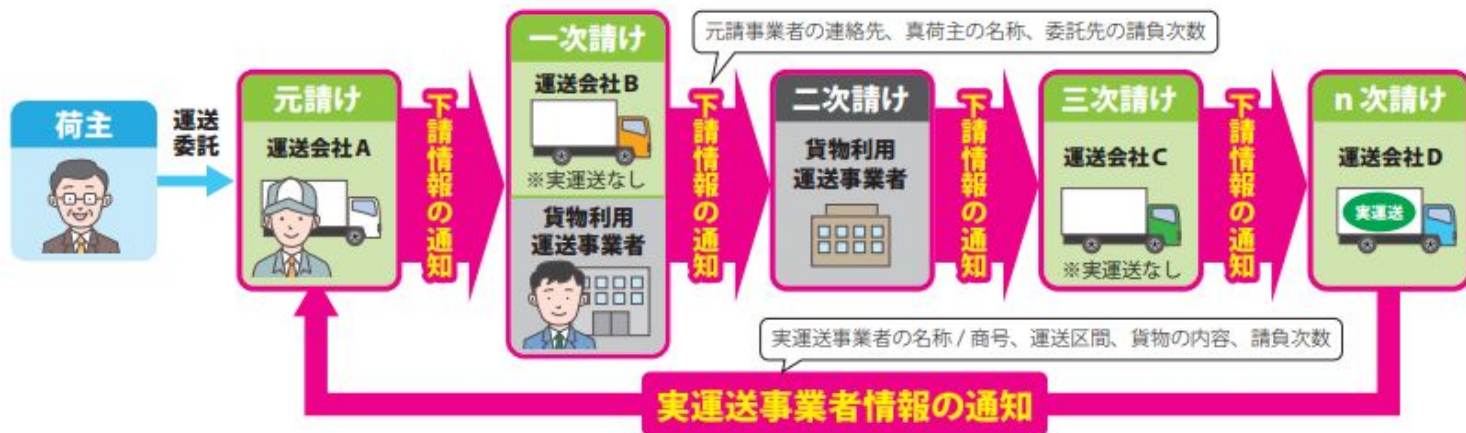
配車業務の属人化を排除

社内担当者間、荷主-協力会社間で一つの同一の仕組みを利用し、情報と業務の属人化を防ぎます。



実運送体制管理簿作成における情報通知の流れ

実運送体制管理簿の作成に必要な「実運送事業者の情報」を元請事業者が把握できるようにするため、所要の情報を通知する義務が各事業者に課されます。情報通知の流れは、以下の図を参考にしてください。



- **元請事業者は、その運送が実運送体制管理簿の作成対象である場合は、運送委託を行う際に、当該運送が実運送体制管理簿の作成対象である旨を確実に委託先へ伝達するようにしてください。**

「実運送体制管理簿関係」のリーフレット：<https://www.mlit.go.jp/jidosha/content/001865381.pdf>

車番情報とともに「実運送事業者の情報」をやり取りする

一足飛びに実運送事業者から元請へ連絡するよりは、今存在している情報の流れを活用した方がスムーズ。



車番、Dr情報とともに実運送事業者情報を伝える

「実運送体制管理簿関係」のリーフレット：<https://www.mlit.go.jp/jidosha/content/001865381.pdf>

新潟輸送様 配車管理(実運送体制管理簿作成)導入事例



お客様企業の物流効率化をサポートする

新潟輸送株式会社

亀田製菓(株)グループ

ハコベル配車管理の導入で、「実運送体制管理簿」作成義務への対応を完了

Before

委託先トラック事業者と電話・FAX・メールでやりとり。
実運体制管理簿の対応方法も未決定。



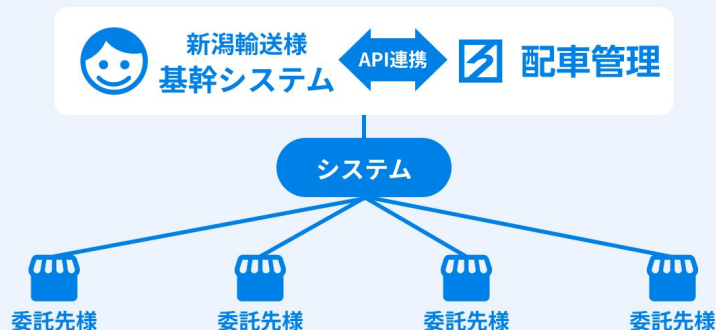
管理簿対応方法
未決定

車番・ドライバー情
報手入力

荷主への車番共有が
運行当日朝

After

ハコベル配車管理で委託先とやりとり。
実運送体制管理簿がワンクリックで出力可能に。



管理簿出力可能

業務効率化・
ペーパーレス

荷主への
車番共有が早くなった